

インターバンクの声（2015 年 10 月 1 日）

欧米勢にとっては第3四半期、本邦勢にとっては上半期の最終日とあって、金融機関に限らず多くの企業にとっては、一年の間でも最も忙しくなる時期の一つだ。金融機関では、期越えのポジションやリスク管理の観点から余計な取引には規制がかかり、日計りの取引にしても余程利益が確実な取引以外は自粛することになる。昨晚、ユーロや豪ドルの値動きが穏やかだった背景は、そうしたことも理由だったかも知れない。ドル円にしても、東京市場の夕方頃から、最近、元気のなかった欧州株が全般的に上昇傾向になっていたこともあって、行けるところまでドル買いで攻めてみようと思ったのだろうが、素早い利食いに押されて振出しに戻されたのが午前0時前の動きだったような気がする。明日発表される9月の米雇用統計の先行指標ともされる米ADP雇用統計は、市場予想と合致する結果となり、明日の波乱を予感させるものとはならなかった。明日の夜まで大きな動きはないような気もするが、日銀短観と中国製造業PMIの結果には注意したい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。